

## 調査問題の内容

学習指導要領に示されている各領域に基づき、自分の置かれた状況などから判断して必要な情報を聞き取る問題、文と文との関係を正確に読み取り、短い文章の概要を捉える問題、短い文章の要点を捉えて考えとその理由を書く問題などが出題されています。

## 全体の結果

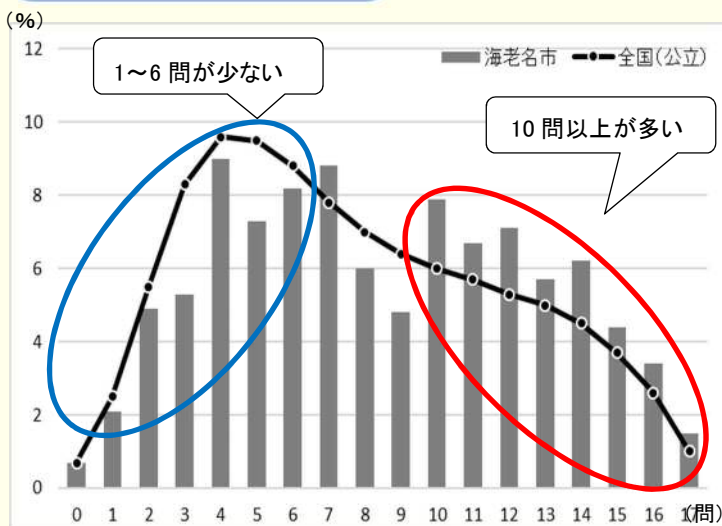
※「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の領域の結果です。

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	49.9%	50.0%	45.6%	4.3
平均正答数	8.5問 /17問	8.6問/17問	7.7問 /17問	0.8

平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率。

## 正答数分布グラフ

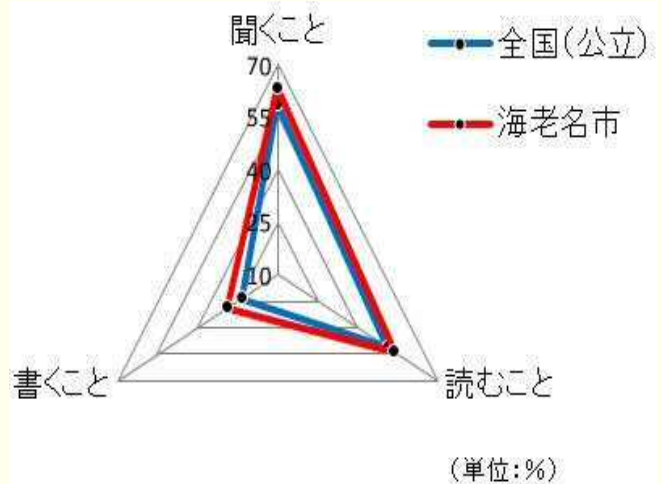
(横軸:正答数, 縦軸:割合)



正答率が50%以下(正答数0~9問)の生徒の割合は、全国と比較して大きく下回っています。

正答率が80%以上(正答数14~17問)の生徒の割合は、全国と比較して上回っています。

## 学習指導要領の領域等の平均正答率



「聞くこと」「書くこと」の領域において、全国と比較して上回っています。

「読むこと」においては、全国と比較して、やや上回っています。

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			海老名市	全国(公立)	全国との比較	海老名市	全国(公立)	全国との比較
学習指導要領の領域等	聞くこと	6問	63.3	58.4	4.9	0.1	0.2	-0.2
	読むこと	6問	53.9	51.2	2.7	0.3	0.5	-0.2
	書くこと	5問	28.9	23.4	5.5	15.0	18.5	-3.5
問題形式	選択式	12問	58.6	54.8	3.8	0.2	0.3	-0.2
	短答式	3問	37.5	30.1	7.4	11.4	14.0	-2.6
	記述式	2問	16.2	13.5	2.7	20.5	25.4	-4.9

## 海老名市の結果についての分析

※「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の結果に基づく分析

- 平均正答率、平均正答数を見ると、全国と比べて上回っています。
- 平均正答率が全国を上回った問題は、17問中16問です。また、平均正答率が80%以上の問題は、17問中1問(全国は0問)です。
- 問題形式を見ると、「記述式」の問題は2問(「話すこと」の領域を含めると4問)とも全国の平均正答率を上回っています。しかし、平均正答率は17%以下で、他の問題形式の中で一番低いです。
- 無解答率は、全問題で全国より低いです。

## 全国の正答率と差が見られた問題の例

中学校英語のすべての問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

(1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば( )内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の会話>

A: I called you at eight last night.

B: Oh, sorry. I ( do ) my homework then.

【答え】 was doing

① <先生と生徒の会話>

A: Do you have any plans for summer vacation?

B: Yes. I ( visit ) my uncle in London.  
I can't wait!

未来表現の肯定文を書く

A: Wow, that's nice!

② <友達同士の会話>

A: Oh, you have a new watch!

B: Yes, I got it yesterday.

A: ( buy ) the watch?

疑問詞を用いた一般動詞の2人称単数過去形の疑問文を書く

B: At a department store near the station.

9 (1) 文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書く。

趣旨 文法事項や言語の働きなどを理解して正確に書くことができるかどうかをみる。

正答例 ① am going to visit  
② Where did you buy

### ◇この問題の正答率

海老名市 ①49.5% ②30.1%  
全国(公立) ①40.4% ②20.9%  
(全国との比較 ①+9.1 ②+9.2)

## 考察

- 「聞くこと」「読むこと」など、「理解」の領域に関しては、日常の学習の成果が結果に表れています。
- 「書くこと」では、社会的な話題について、文章の内容を把握し、書き手の意見に対する自分の考えを書くことはできつつありますが、その理由を書くことに課題があると考えられます。

## 指導の改善にむけて

### ◆自分の考えやその理由を表現する力を高めるために

- 内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を取り入れた学習活動に継続的・計画的に取り組めます。
- 社会的な話題に関して、自分自身の考えや気持ちを話す言語活動に、継続的・計画的に取り組めます。

### ◆正しい語や文法を使って話す力を高めるために

- 1人1台端末を活用して録画・録音をする等、生徒自ら使用した英語を振り返り、場面に応じた表現方法を確認する機会を設けるなどの工夫を取り入れます。